

# 視察レポート

中村

日時 平成 26 年 7 月 31 日

視察地 みたけ食品工業鴻巣工場

参加者 柏木商事 下平専務

森給食 西澤社長、木下  
市川(営) 佐川次長、坂内課長、麻薙主任、脇坂主任、斉藤、後藤、  
品川、相田、吉富  
松戸(営) 橋本部長、河手次長、清水主任、細渕、植村、浅田、三浦、  
謝花、中村

## 視察内容

- ・昭和 42 年から、ごま、きな粉、米粉、大豆製品等を製造している工場。
- ・第一工場から第七工場及び事務所棟、研究開発施設がある。平成 14 年に現在の形となり、平成 19 年に ISO9001 認定取得。
- ・国道 17 号に面しており、敷地面積はそれなりに広いと感じた。

今回、事故渋滞等により、視察時間の大幅な予定変更となり、駆け足な視察であった。

食事をしながら会社概要・工場概要の説明を受け、四班に別れ、各工場内で行っている事を工場の入り口付近で、ホワイトボード等で説明を受けるといった形で、視察。

各工場の従業員数は少なく、リーダー以下何名か？位で機械を管理する程度の人しかいない。ガテン系ではないので、草食系男子が多いそうだ。

各工場はエア－搬送のパイプでつながっており、原料の入荷、搬送から投入、製品の製造から充填までほぼオートメーションの製造工程になっている。

工場なのに製品は外注の検査待ちの商品以外のストックは無く、製造後すぐに営業倉庫に移動される。

視察当日も原料を搬入したトラックに製品を積み込みしている姿を目撃。

・営業から、お米と大豆のパンケーキミックスやサクサク大豆、グラノーラの製品を使ったレシピ米粉サクサク蒸しパンの提案・試食。(昼食の弁当にも米粉の唐揚げ) (何杯もおかわりした麦茶も同社の製品)

個人的にはサクサク大豆を使ったふりかけがよかった。  
メニュー提案の切り口としては難しくなく良いかと・・・

質疑応答

・害虫駆除やエア－搬入のパイプ清掃等に関して行われた。

## 感想

・工場見学としては、施設内の立ち入りができない事でガッカリした部分がある視察であったが、同社の経営理念

「大地と人を結ぶネイチャーメディア」として、「安心」、「ニーズ」、「高品質」な製品の提供を通じ、豊かな食文化に貢献する。

・「人が立ち入る事で異物混入のリスクは高まる」

この衛星管理と自主基準のもとでは、工場内の立ち入り見学ができないのもしかたなしである。

・スローガン

「自分の仕事を科学しよう。」(現状から更に何が出来るか考える。工夫する。改善する。)

このスローガンを見た時に衝撃が走った。

自分の過去を振り返り、今後の行動、方向性を考えた。

以上